

令和6年度

第1回 理事・評議員会

議 事 資 料

日 時 令和6年5月21日（火）9：30～11：45

会 場 新潟市立鏡淵小学校をメイン会場にして各勤務校でオンラインの参加

ミーティング ID	970 771 2282
パスコード	277706

全体進行 事務局 佐藤 快海

- 1 開 会
- 2 開会のあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・新潟県特別支援教育研究会 会長 後藤 和広
- 3 ご 指 導 ・・・・・・・・新潟県教育庁義務教育課特別支援教育推進室指導主事 南 誠 様
新潟市教育委員会特別支援教育課総括指導主事 栗原 靖明 様
- 4 議 事・・・・・・・・・・・・・・・・議長 佐久間 郁子（新潟市立山田小学校長）

1. 令和6年度役員（案）

- (1) 令和6年度役員・評議員（案）

2. 報告事項

- (1) 令和5年度事業報告
- (2) 令和5年度県特支研会計ならびに振興基金の決算報告
- (3) 規約改正について
- (4) 全国・関ブロ役員派遣のローテーション、地区大会の開催地区のローテーション

3. 協議事項

- (1) 令和6年度事業計画（案）
- (2) 令和6年度予算（案）
- (3) 令和6年度地区大会実施計画（案）
- (4) 令和7年度全国大会プレ大会実施計画（案）

4. 連絡事項

- (1) 負担金（会費）の納入について
- (2) 各地区評議員への報告・配付依頼について
- (3) 各種補助金・後援の申請について
- (4) その他（規約・旅費規程）

5. 全国大会に向けた取組に関する協議・連絡

- (1) 大会に関する基本情報
- (2) 今後の大まかなスケジュールについて＊特に今年度の確認
- (3) 各部の進捗状況の確認と今年度の取組の予定について
- (4) 役割分担について

5 議 長 退 任

6 連 絡

7 閉会のあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・新潟県特別支援教育研究会 副会長 阿部 隆一

8 閉 会 ※閉会后各専門部でブレイクアウトルームに分かれて話し合い、終わった部から解散

ご指導 1

新潟県教育庁義務教育課特別支援教育推進室指導主事
南 誠 様

ご指導 2

新潟市教育委員会特別支援教育課総括指導主事
栗原 靖明 様

令和6年度 新潟県特別支援教育研究会役員

<敬称略>

No.	役名	氏名	市町村	学校名	〒	住所	Tel
1	会 長	後藤 和広	新潟	新潟市立鏡淵小学校	950-8131	新潟市中央区白山浦1-207-3	025(265)4111
2	副会長	泉 豊	上越	上越市立南本町小学校	943-0841	上越市南本町3-9-1	025(523)2445
3	〃	熊倉 隆司	三条	三条市立裏館小学校	955-0081	三条市東裏館3-2-67	0256(33)0465
4	〃	阿部 隆一	新潟	新潟市立東特別支援学校	950-0806	新潟市東区海老ヶ瀬31番地	025(271)9117
5	理 事	小林 朋広	妙高	妙高市立新井中央小学校	944-0018	妙高市諏訪町2-4-8	0255(72)4225
6	〃	岩田 正行	柏崎	柏崎市立田尻小学校	945-1352	柏崎市大字安田1455番地	0257(22)4315
7	〃	五十嵐 恵一	長岡	長岡市立千手小学校	940-0087	長岡市千手2丁目8番1号	0258(35)0770
8	〃	前田 友晴	見附	見附市立今町小学校	954-0111	見附市今町6-19-1	0258(66)2069
9	〃	竹垣 雅彦	南魚沼	南魚沼市立北辰小学校	949-6681	南魚沼市余川1220-2	025(773)3611
10	〃	伊藤 裕之	新潟A	新潟市立両川中学校	950-0324	新潟市江南区酒屋町702-1	025(280)2020
11	〃	間嶋 哲	新潟A	新潟市立新津第一小学校	956-0864	新潟市秋葉区新津本町4-4-3	0250(22)0069
12	〃	江口 滋	新潟B	新潟市立万代長嶺小学校	950-0082	新潟市中央区東万代町4-1	025(245)4488
13	〃	土田 亮	新潟B	新潟市立女池小学校	950-0941	新潟市中央区女池6-4-1	025(285)6795
14	〃	小野沢 謙一	新発田	新発田市立外ヶ輪小学校	957-0053	新発田市中央町5-8-9	0254(22)2549
15	〃	鈴木 得夫	村上 ・岩船	村上市立さんぼく小学校	959-3942	村上市勝木20-1	0254(77)2893
16	〃	山崎 浩志	二市 ・東蒲	五泉市立五泉小学校	959-1866	五泉市学校町3-14	0250(43)3101
17	〃	石塚 間継	佐渡	佐渡市立真野中学校	952-0311	佐渡市名古屋145	0259(55)2104
18	〃	辺見 亘	特・上越	県立はまなす特別支援学校	945-0011	柏崎市松波4-10-1	0257(24)7833
19	〃	月岡 秀也	特・中越	見附市立見附特別支援学校	954-0034	見附市月見台1-10-74	0258(63)2210
20	〃	佐々木 裕一	特・新潟	県立西蒲高等特別支援学校	953-0043	新潟市西蒲区堀山新田51番地1	0256(72)2049
21	会計 監査	富永 浩文	糸魚川	糸魚川市立糸魚川小学校	941-0062	糸魚川市中央1-2-1	025(552)0042
22	会計 監査	内藤 貴志	長岡	長岡市立新町小学校	940-0024	長岡市西新町2-2-7	0258(32)0053
23	会計 監査	鈴木 正彦	阿賀野	阿賀野市立水原小学校	959-2025	阿賀野市岡山町4-35	0250(62)2005

令和6年度 新潟県特別支援教育研究会 評議員名簿

<敬称略>

NO		地 区	校長名	学校名	〒	住所	TEL
1	上越	上越	饒村 泰世	上越市立飯小学校	943-0896	上越市飯1946	025(523)3810
2		上越	佐藤 則子	上越市立三和中学校	943-0311	上越市三和区島倉2267	025(532)2024
3		柏崎・刈羽	鈴木 康幸	柏崎市立日吉小学校	945-0106	柏崎市大字土合806	0257(22)3017
4		柏崎・刈羽	高橋 明大	柏崎市立松浜中学校	945-0011	柏崎市松波3丁目7番5号	0257(22)3714
5		糸魚川	松岡 貴徳	糸魚川市立能生小学校	949-1352	糸魚川市大字能生4485	025(566)2026
6		妙高	清水 登紀子	妙高市立妙高小学校	949-2235	妙高市大字関山2785	0255(82)2012
7	中越	長岡・三島	中島 喜美子	長岡市立栖吉小学校	940-0827	長岡市悠久町3-232	0258(32)3215
8		長岡・三島	菊地 一秀	長岡市立大島中学校	940-2111	長岡市三ツ郷屋町字下川原342	0258(27)1455
9		三条	池田 岳康	三条市立長沢小学校	955-0152	三条市笹岡579	0256(46)2019
10		三条	田村 和弘	三条市立第一中学校	955-0852	三条市南四日町1丁目1番1号	0256(33)1093
11		燕・弥彦	坂内 克明	燕市立燕西小学校	959-1289	燕市東太田7936番地	0256(63)2020
12		加茂・南蒲	小田 貴樹	加茂市立葵中学校	959-1374	加茂市矢立15-1	0256(52)5174
13		見附	永井 智祐	見附市立名木野小学校	954-0034	見附市月見台1-10-75	0258(62)0091
14		小千谷	高橋 豊	小千谷市立総合支援学校	949-8721	小千谷市大字塩殿甲2144番地	0258(82)1878
15		十日町・中魚	山川 和子	十日町市立川治小学校	948-0035	十日町市川治688番地2	025(752)2371
16		魚沼	大関 みどり	魚沼市立広神西小学校	946-0108	魚沼市親柄107番地1	025(799)2013
17		南魚沼	角谷 文昭	湯沢町立湯沢中学校	949-6102	南魚沼郡湯沢町神立1580番地	025(784)3444
18	新潟	新潟市北区	川又 由香	新潟市立岡方第一小学校	950-3353	新潟市北区長戸呂985	025(387)3335
19		新潟市北区	遠藤 禎	新潟市立早通中学校	950-3372	新潟市北区早通396	025(386)7333
20		新潟市東区	藤田 滋	新潟市立江南小学校	950-0855	新潟市東区江南5-1-1	025(286)2895
21		新潟市江南区	岡田 義則	新潟市立早通小学校	950-0168	新潟市江南区早通5-7-2	025(381)2234
22		新潟市江南区	伊藤 裕之	新潟市立両川中学校	950-0324	新潟市江南区酒屋町702-1	025(280)3866
23		新潟市秋葉区	松島 慎一郎	新潟市立小合小学校	950-0046	新潟市秋葉区出戸180	0250(22)3015
24		新潟市南区	中川 日里	新潟市立小林小学校	950-1472	新潟市南区浦梨215-1	025(372)2437
25		新潟市西区	佐久間 郁子	新潟市立山田小学校	950-1101	新潟市西区山田2781-2	025(377)2114
26		新潟市西蒲区	藤崎 直子	新潟市立升潟小学校	959-0413	新潟市西蒲区升潟2179	0256(88)2581
27	下越	新発田	磯部 裕之	新発田市立猿橋小学校	959-2513	新発田市中曾根町3-8-29	0254(22)2123
28		北蒲	藤井 政明	聖籠町立蓮野小学校	957-0124	北蒲原郡聖籠町蓮野1687	0254(27)2508
29		胎内	高橋 路子	胎内市立きのと小学校	959-2611	胎内市山屋120番地	0254(46)2025
30		村上・岩船	櫻井 雅之	関川村立関川中学校	959-3264	岩船郡関川村大字上関589番地2	0254(64)1063
31		五泉	佐藤 元	五泉市立五泉北中学校	959-1811	五泉市三本木2-7-1	0250(43)0150
32		阿賀野	樋口 憲哉	阿賀野市立堀越小学校	959-2057	阿賀野市野地城259番地1	0250(62)2542
33		東蒲原	高松 豊	阿賀町立津川小学校	959-4402	東蒲原郡阿賀町津川3234	0254(92)2042
34		佐渡	小田 俊裕	佐渡市立加茂小学校	952-0005	佐渡市梅津2341-1	0259(27)3551
35	特別支援学校	特別支援学校(視)	岡村 浩之	県立新潟よつば学園	950-0862	新潟市東区竹尾2丁目2番1号	025(250)0428
36		特別支援学校(聴)	生方 清司	県立長岡豊学校	940-0093	長岡市水道町2丁目1番13号	0258(32)1007
37		特別支援学校(病)	森田 隆行	県立吉田特別支援学校	959-0242	燕市吉田大保町32番24号	0256(92)5369
38		特別支援学校(肢)	長谷川 修	県立上越特別支援学校	943-0861	上越市大和6-4-37	025(522)1442
39		特別支援学校(知)	樋口 尚	新潟大学附属特別支援学校	951-8535	新潟市中央区西大畑町5214番地	025(223)8383

【報告 1】

令和 5 年度 事業報告

(1) 新潟県特別支援教育研究会 理事会等の開催

- 三役会
 - ・ 令和 5 年 5 月 29 日 (月) 新潟市立鏡淵小学校会議室
 - ・ 令和 5 年 9 月 27 日 (水) オンラインによる開催
 - ・ 令和 6 年 1 月 11 日 (木) オンラインによる開催
- 第 1 回理事・評議員会
 - ・ 令和 5 年 6 月 8 日 (木) 対面とオンラインのハイブリッドによる協議・決議
令和 4 年度事業報告及び決算、令和 5 年度事業計画案及び予算案について承認
- 第 2 回理事・評議員会
 - ・ 令和 6 年 1 月 30 日 (火) オンラインによる協議・決議
令和 5 年度事業報告及び中間決算報告、令和 6 年度事業計画案及び予算案について提案
- 第 3 回理事・評議員会* 書面決議
規約改正に関する書面表決を行い、賛成多数で可決・

(2) 全日本特別支援教育研究連盟関係

- 第 62 回全日本特別支援教育研究連盟全国大会徳島大会 開催
 - ・ 期 日 令和 5 年 10 月 19 日 (木)、20 日 (金)
 - ・ 会 場 全体会 あわぎんホール
 - 分科会 あわぎんホール 徳島県教育会館 他数か所
 - ・ 県特支研役員 1 名 (会長)
- 第 57 回全特連関東甲信越地区特別支援教育研究協議会栃木大会 開催
 - ・ 県内提案者
第 2 分科会 通級による指導「通級指導における専門性を生かした指導・支援」
発表者 長岡市立新町小学校 高松 敏之 教諭
司会者 見附市立今町小学校 近藤 和行 教諭
* 令和 5 年度は中越地区から選出
- 全特連 理事・評議員研究協議会
 - ・ 第 1 回理事・評議員研究協議会 令和 5 年 5 月 19 日 (金) 東京戸山カンライズにて開催。
 - ・ 当会から江口会長 (新潟市立鏡淵小学校) が参加。
 - ・ 第 2 回理事・評議員研究協議会 令和 5 年 10 月 19 日 (木) 徳島県にて開催。
 - ・ 当会から江口会長 (新潟市立鏡淵小学校) が参加。

(3) 研究大会の開催

- 上越地区特別支援教育研究大会柏崎刈羽大会 (事務局: 柏崎市立田尻小学校)
 - ・ 期 日 令和 5 年 8 月 4 日 (金)
 - ・ 会 場 柏崎市文化会館アルフォーレ (対面及びオンライン形式)
- 中越地区特別支援教育研究大会魚沼大会 (事務局: 魚沼市立広神西小学校)
 - ・ 期 日 令和 5 年 11 月 9 日 (木)
 - ・ 会 場 魚沼市小出郷文化会館 (対面及びオンライン形式)
- 下越地区特別支援教育研究大会新発田大会 (事務局: 新発田市立二葉小学校)
 - ・ 期 日 令和 5 年 11 月 24 日 (金)
 - ・ 会 場 新発田市生涯学習センター (対面及びオンライン形式)
- 佐渡地区特別支援教育研究大会 (事務局: 佐渡市立加茂小学校)
 - ・ 4 年に 1 度の開催のため、令和 5 年度は実施なし。

(4) 研究部研修会

- 知的障害部 (事務局：新潟市立新津第一小学校)
- 自閉症・情緒障害部 (事務局：長岡市立千手小学校)
- 肢体不自由・病弱・身体虚弱部 (事務局：見附市立今町小学校)
- 言語・難聴部 (事務局：新潟市立万代長嶺小学校)
- 視覚教育障害部 (事務局：新潟よつば学園)

(5) 表彰関係

全日本特別支援教育研究連盟功労者表彰

県特支研 山崎 睦子 副会長 (三条市立裏館小学校長)

(6) 研究成果の紹介・情報発信

- ① 会報127号(令和5年 9月発行) 4ページ
 - ・ 巻頭言(会長)
 - ・ 特別支援に関する情報(県教育庁義務教育課特別支援教室推進室)
 - ・ 主な行事予定 ・ 各種研究大会紹介 ・ 理事・評議員紹介 ・ ホームページ紹介
- ② 会報128号(令和6年 3月発行) 4ページ
 - ・ 巻頭言(副会長・・・上越地区)
 - ・ 地区大会報告 ・ 研究部報告 ・ 関ブロ大会報告 ・ 令和8年全国大会新潟大会の紹介 他
- ③ ホームページの充実
 - ・ 県特支研関連情報(会報等)

(7) 特別支援学級・通級指導教室 担当者名簿の集約

(8) 事業予算について

- ・ 負担金金額について
 - 学校負担金 1,500円(特別支援学級設置数に問わず)
 - 特学負担金 4,000円 とした。

令和5年度 新潟県特別支援教育研究会会計 決算書

1 収入の部

新潟県特別支援教育研究会

	予算額	決算額	予算に対する増減	摘 要
繰越金	511,066	511,066	0	令和4年度より繰越
会費	1,068,500	1,045,000	-23,500	特別支援学級設置校及び特別支援学校負担金 教職員厚生財団助成金(45万円) 教育公務員弘済会助成金(20万円)
助成金	650,000	650,000	0	
雑収入	4	200,002	199,998	利息, 全特連義援金
合 計	2,229,570	2,406,068	176,498	

2 支出の部

項	費 目	予算額	決算額	予算に対する増減	摘 要
I 研 究 大 会 費	1 上越地区大会	200,000	200,000	0	上越大会開催助成
	2 中越地区大会	200,000	200,000	0	中越大会開催助成
	3 下越地区大会	200,000	200,000	0	下越大会開催助成
	4 佐渡 地区大会	50,000	50,000	0	佐渡大会積立用助成
	5 特別支援学校部	60,000	60,000	0	特別支援学校部助成
	6 知的障害部	80,000	80,000	0	研究部研修会費
	7 言語・難聴部	60,000	60,000	0	研究部研修会費
	8 自閉症・情緒障害部	80,000	80,000	0	研究部研修会費
	9 肢体・病虚弱部	20,000	20,000	0	研究部研修会費
	10 視覚障害部	20,000	20,000	0	研究部研修会費
	小 計	970,000	970,000	0	
II 本 部 役 員 派 遣 費	11 理事・評議員会旅費	50,000	41,388	-8,612	三役会旅費、監査旅費、理事・評議員会旅費 関プロ大会発表・可会者への派遣費、印刷資料代
	12 全国大会・関プロ総会発表者等派遣	90,000	80,730	-9,270	
	13 全国・関プロ大会役員派遣	100,000	90,087	-9,913	全国大会、関プロ大会参加費、旅費
	14 会長、副会長、事務局員会談旅費	20,000	58,320	38,320	全特連理事・評議員会旅費
	15 会長、事務局員地区大会旅費	20,000	11,912	-8,088	地区大会への旅費
	小 計	280,000	282,437	2,437	
3	16 会報	60,000	58,960	-1,040	会報127号(29480円)、会報128号(29480円)
	17 通信・運搬(会報)	40,000	20,614	-19,386	会報郵送代、レターパック等
	小 計	100,000	79,574	-20,426	
IV 事 務 局 費	18 通信・運搬	130,000	132,350	2,350	
	19 消耗印刷	75,000	17,359	-57,641	
	20 会議	5,000	3,114	-1,886	
	21 雑費	10,000	5,500	-4,500	
	22 調査費	0	0	0	
	小 計	220,000	158,323	-61,677	
V 担 金 負	23 負担金	350,000	337,160	-12,840	全特連負担金、関プロ負担金
	小 計	350,000	337,160	-12,840	
VI 積 立 金 基 金	24 全国大会積立	200,000	200,000	0	
	小 計	200,000	200,000	0	
VII 備 予 費	25 予備費	109,570	277,200	167,630	ライセンス代等, 全特連義援金
	小 計	109,570	277,200	167,630	
合 計		2,229,570	2,304,694	75,124	

3 残高の部

(収入総額) (支出総額) (残高)
2,406,068円 - 2,304,694円 = 101,374円 (残額につきましては次年度へ繰り越いたします)

監査の結果上記のとおり相違ないことを証します。

令和6年3月31日

会計監査

会計監査

会計監査

島永浩文
鈴木正彦
内藤貴志

令和5年度 新潟県特別支援教育研究会振興基金会計 決算報告書

1 収入の部

2024. 4. 1 新潟県特別支援教育研究会振興基金

	予算額	収入額	予算に対する増減	摘 要
繰 越 金	1, 163, 703	1, 163, 703	0	
会 費	0	0	0	
助 成 金	0	0	0	
雑 収 入	0	11	11	
積 立 金	0	200, 000	200, 000	
合 計	1, 163, 703	1, 363, 714	200, 011	

2 支出の部

項	費 目	予算額	執行額	残 額	摘 要
1	支 出	0	0	0	
	合 計	0	0	0	

3 残高の部

(収入総額) (支出総額) (残高)
 1, 363, 714円 － 0円 ＝ 1, 363, 714円 (残額につきましては次年度へ繰り越しいたします)

監査の結果上記のとおり相違ないことを証します。

令和6年4月16日

会計監査

高永浩文

会計監査

鈴木正彦

会計監査

内藤貴志

報告 3

新潟県特別支援研究会の規約改正に関する議決の結果報告について

第1号議案に対する表決数	5 5
賛成数	5 5
反対数	0

上記のとおり、当会の規約第4条は賛成多数により、規約改正となります。

【改正規約】

第4条 本会は本県の特別支援学級及び通級指導教室を設置している小中高等学校・特別支援学校並びに入会希望校の教職員をもって会員とする。

本日の理事・評議員会の承認をもって、改正した規約の発効となります。

【報告4】

全国大会・関ブロ大会への役員派遣ローテーションについて

全特連全国大会への役員・発表者等の派遣				関ブロ大会への役員派遣(提案者・司会者等)	
年度	10月～11月			8月	
R3	和歌山大会	ローテーション:下越地区 副会長(1名)が参加予定		神奈川大会	ローテーション:中越地区 発表(2名) 誌上発表による開催
R4	秋田大会	11月4日(金)	全特連第2回理事・評議員研究協議会 リモート参加:副会長(上越)	長野大会	ローテーション(上越) 発表2名
		11月11日(金)	全国大会 発表1名(視覚) 誌上開催のため参加なし		
R5	徳島大会	10月19日(木)	全特連第2回理事・評議員研究協議会 参加:会長	栃木大会	ローテーション(中越) 発表1名 司会1名
		10月19日(木) 20日(金)	会長が参加		
R6	福井大会	11月21日(木)	全特連第2回理事・評議員研究協議会 参加:会長	千葉大会	ローテーション(下越) 発表1名 司会1名
		11月21日(木) 22日(金)	会長, 事務局が参加		
R7	北海道大会	10月23日(木)	全特連第2回理事・評議員研究協議会 参加:会長	茨城大会	ローテーション(中越) 発表1名 司会1名
		10月23日(木) 24日(金)	会長が参加		
R8	新潟大会	10月15日(木)	全役員参加	新潟大会	各分科会に発表者・司会・指導者
		10月15日(木) 16日(金)			

全特連関ブロ大会(全国大会)派遣について<ローテーションの確認>

例年、上中下越で当番を決め、その地区で調整していた。

ただし役員派遣困難な場合は他の地区に依頼していた。役員は、理事会に参加する。

<全特連関ブロ大会(全国大会)当番地区と派遣人数>

年度	大会名	派遣人数	上越(人)	中越(人)	下越(人)	佐渡(人)
H28	関ブロ新潟大会		全特連 関ブロ 新潟大会			
H29	関ブロ東京大会	3	発表1 司会1			
	全国大会山口大会				発表1	
H30	関ブロ群馬大会 (全国大会名古屋大会)	4		発表2 司会2		
R1	全国・関ブロ埼玉大会 ※全国・関ブロ合同	4	発表1 司会2			指導者1
R2	関ブロ山梨大会(誌上大会) (全国大会長崎大会)	4			発表2 司会2	
R3	関ブロ神奈川大会(紙上大会) (全国大会和歌山大会)	4		発表2 司会2		
R4	関ブロ長野大会 (全国大会秋田大会)	2	発表2			
R5	関ブロ栃木大会 (全国大会徳島大会)	2		発表1 司会1		
R6	関ブロ千葉大会 (全国大会福井大会)	2			発表1 司会1	
R7	関ブロ茨城大会 (全国大会北海道大会)		発表 司会			
R8	全国大会新潟大会		全特連 全国大会 新潟大会			

※ R8年度全国大会に発表者・司会者を派遣

【 報告 5 】

地区大会のローテーションについて

	上越大会	中越大会	下越大会	佐渡大会
H28年	第 50 回 全 特 連 関 ブ ロ 大 会 新 潟 大 会			
H29年	上越市北部	魚沼地区（十日町市）	二市東蒲（五泉、阿賀野、東蒲）	○
H30年	上越南部	長岡西地区	新潟市 B（東区、秋葉区、南区、西区）	
R01年	柏崎・刈羽	県央地区（三条）	二市・北蒲（新発田・北蒲、胎内）	
R02年	上越中部 誌上大会	魚沼地区（小千谷市）中止	村上・岩船 ㊦ 中止	
R03年	上越北部	長岡東地区	新潟市 A ㊦	○
R04年	上越南部	県央地区（見附）	二市東蒲（五泉、阿賀野、東蒲）㊦	
R05年	柏崎・刈羽	魚沼地区（魚沼市）	三市北蒲（新発田・胎内・北蒲）㊦	
R06年	上越中部	長岡西地区	新潟市 B ㊦	
R07年	全国大会新潟大会プレ大会			
R08年	第 65 回 全 特 連 全 国 大 会 新 潟 大 会			
R09年	上越北部	県央地区(加茂市・田上町)	村上・岩船 ㊦	○
R10年	上越南部	魚沼地区（小千谷市）	新潟市 A	

* 上越地区の区割りにについては、H30 年度より次のように行う。

上越北部・・・上越市北部・糸魚川市 地域

上越南部・・・上越市南部・妙高市 地域

上越中部・・・上越市中部（上越市南北地域を除く）

柏崎・刈羽 以上 4 地域のローテーションになる。

* 上越北部→上越南部→上越中部→柏崎・刈羽の順番

* 中越地区における「地区大会」ローテーションについては、次のように行う。

長岡地区・・・地域を考慮して信濃川西岸と東岸で地域を 2 つに分ける。

長岡東 ・ 長岡西、出雲崎町

県央地区・・・地域を考慮して以下の 4 つに分ける。

三条市 ・ 見附市 ・ 加茂市・田上町 ・ 燕市・弥彦村

魚沼地区・・・地域を考慮して以下の 6 つに分ける。

小千谷市・十日町・魚沼市・南魚沼市・湯沢町・津南町

* 長岡地区→県央地区→魚沼地区の順番

* 下越地区における「地区大会」ローテーションについては、次のように行う。

新潟地区・・・特別支援学級設置校の数を考慮して地区を二つに分ける。

新潟 A（北区、江南区、西蒲区、中央区）・新潟 B（東区、秋葉区、南区、西区）

二市東蒲地区・・・五泉市・阿賀野市・阿賀町

二市北蒲地区・・・新発田市・聖籠町、胎内市

村上・岩船地区

* 新潟市 A→二市東蒲→二市北蒲→新潟市 B→村上・岩船の順番

【協議 1】

令和6年度 事業計画(案)

(1) 新潟県特別支援教育研究会 理事会等の開催

- 三役会
 - ・令和6年5月 1日(水) 14:00～15:00 オンラインによる協議を予定
 - ・令和7年1月中旬予定
- 理事・評議員会
 - ・令和6年5月21日(火) 9:30～11:30 オンラインによる協議・決議
 - ・令和7年1月下旬予定

(2) 研究大会の開催

- 上越地区特別支援教育研究大会上越大会 (事務局: 上越市立飯小学校)
 - ・期 日 令和6年 8月 2日(金)
 - ・会 場 上越文化会館(対面とオンラインのハイブリッド方式)
 - ・講演会 叱らないけど譲らない「提案・交渉型アプローチ」の効用(仮題)
 - ・講 師 和歌山大学名誉教授 武田 鉄郎 様
- 中越地区特別支援教育研究大会長岡大会 (事務局: 長岡市立与板小学校)
 - ・期 日 令和6年 8月 5日(月)
 - ・会 場 長岡市教育センター(対面とオンラインのハイブリッド方式)
 - ・講 師 和歌山大学名誉教授 武田 鉄郎 様
 - ・形 式 講演会後、シンポジウムを開催
- 下越地区特別支援教育研究大会新潟大会 (事務局: 新潟市立小林小学校)
 - ・期 日 令和6年11月27日(水)
 - ・会 場 江南区文化会館(対面とオンラインのハイブリッド方式)
 - ・形 式 教育委員会からの全体指導後、分科会を開催
- 佐渡地区特別支援教育研究大会 (事務局: 佐渡市立加茂小学校)
 - ・4年に1度の開催のため、令和6年度は実施なし。

(3) 研究部研修会

- 特別支援学校部 (事務局: 新潟県立西蒲高等特別支援学校)
- 知的障害部 (事務局: 新潟市立新津第一小学校)
- 自閉症・情緒障害部 (事務局: 長岡市立千手小学校)
- 肢体不自由・病弱・身体虚弱部 (事務局: 見附市立今町小学校)
- 言語・難聴部 (事務局: 新潟市立万代長嶺小学校)
- 視覚教育障害部 (事務局: 新潟よつば学園)

(4) 全日本特別支援教育研究連盟関係

- 第58回全特連関東甲信越地区特別支援教育研究協議会千葉大会
 - ・期 日 令和6年8月23日(金)
 - ・会 場 千葉県教育会館 他2会場
 - ・全体会及び分科会は対面開催予定
 - ・県内提案者並びに司会者
 - 参加分科会 分科会3 障害特性や発達段階を踏まえた通級による指導
 - 「個々の障害特性や、発達段階、年齢を意識した指導・支援と連携の在り方の工夫」
 - 発 表 者 村上市立保内小学校 八藤後 和男 教諭
 - 司 会 者 新潟市立万代長嶺小学校 谷川 美記子 教諭
 - *令和6年度は下越地区から選出
- 全特連 理事・評議員研究協議会
 - ・第1回理事・評議員研究協議会 5月17日(金) 東京戸山カンライズ及びリモートにて開催。当会からは、会長が参加予定。
 - ・第2回理事・評議員研究協議会 11月21日(木) 全国大会当日開催予定。

- 第63回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大会
 - ・期 日 令和6年11月21日(木)・22日(金)
 - ・会 場 全体会 フェニックスプラザ
 - 分科会 フェニックスプラザ 他数か所
 - ・県特支研役員2名(会長・事務局)

(5) 研究成果の紹介・情報発信

- ① 会報129号(令和6年7月予定) 4ページ
 - ・ 巻頭言(会長)
 - ・ 特別支援に関する情報(県教育庁義務教育課特別支援教室推進室)
 - ・ 主な行事予定 ・ 各種研究大会紹介 ・ 理事・評議員紹介 ・ ホームページ紹介
- ② 会報130号(令和7年 2月発行予定) 8ページ
 - ・ 巻頭言(副会長・・・下越地区)
 - ・ 地区大会報告 ・ 研究部報告 ・ 関ブロ大会報告 ・ ホームページ紹介 他
- ③ ホームページの充実
 - ・ 県特支研関連情報(会報・研修・地区大会等)

(6) 特別支援学級・通級指導教室 担当者名簿の集約

- ・ 令和5年度より、Google Forms を使った報告形式に変更。令和6年度も継続。

(7) 事業予算について

- ・ 負担金金額について
 コロナ禍で活動の減少に伴って減額した負担金(学級割りをなくした)により、繰越金を切り崩してなんとか令和4、5年度は成立した。支出の見直しを行ったが、それでも足りないのが現状である。将来に渡って会を円滑に運営していくためにも負担金の値上げを提案する。
【事務局提案】⇒来年度は以下の負担金をお願いする。

負担金金額	…	1, 800円
特別支援学校負担金金額	…	4, 500円
- ・ 研究大会費の削減について
 - ① 大幅な収入減により、支出の見直しを行った。それに伴い、印刷費や通信費等の削減を行うとともに、各地区大会や専門部の予算を昨年度より減額した。
 - ② 余った予算については、県特支研へ返金してもらおう。万が一、研究費が不足する場合は、事務局の予備費を活用する。

1

収入の部

新潟県特別支援教育研究会

	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較増減	摘 要
繰越金	101,374	511,066	-409,692	
会費	1,273,500	1,068,500	205,000	1800円×設置校(630校), 4500円×特別支援学校(31校)
助成金	650,000	650,000	0	厚生財団(45万)、弘済会(20万)
雑収入	2	4	-2	利息
合 計	2,024,876	2,229,570	-204,694	

2

支出の部

項	費 目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較増減	摘 要
I 研 究 大 会 費	1 上越地区大会	150,000	200,000	-50,000	25%削減
	2 中越地区大会	150,000	200,000	-50,000	25%削減
	3 下越地区大会	150,000	200,000	-50,000	25%削減
	4 佐渡地区大会	37,500	50,000	-12,500	25%削減
	5 特別支援学校部	45,000	60,000	-15,000	25%削減
	6 知的障害部	60,000	80,000	-20,000	25%削減
	7 言語・難聴部	30,000	60,000	-30,000	前年度繰越金の有効活用のため、減額申請
	8 自閉症・情緒障害部	60,000	80,000	-20,000	25%削減
	9 肢体・病虚弱部	20,000	20,000	0	
	10 視覚障害部	20,000	20,000	0	
	小 計	722,500	970,000	-247,500	
II 本 部 役 員 派 遣 費	11 理事・評議員会旅費	10,000	50,000	-40,000	ZOOM会議による旅費削減
	12 全国大会・関ブロ提案発表者等派遣	80,000	90,000	-10,000	関ブロ(提案者・司会者4万×2=8万)
	13 全国・関ブロ大会役員派遣	140,000	100,000	40,000	全国(会長…6万×1=6万) 関ブロ(副会長、事務局2名…4万×2=8万)
	14 会長、副会長、事務局員会議旅費	45,000	20,000	25,000	全特連(5月・2月の2回)
	15 会長、事務局員地区大会旅費	20,000	20,000	0	
	小 計	295,000	280,000	15,000	
III 刊 行 研 究 費 成	16 会報	0	60,000	-60,000	メールのよる情報発信
	17 通信・運搬(会報)	10,000	40,000	-30,000	教育委員会関係
	小 計	10,000	100,000	-90,000	
IV 事 務 局 費	18 通信・運搬	150,000	130,000	20,000	HP年間通信料、wi-fi通信料、Zoomライセンス代、郵送料
	19 消耗印刷	55,000	75,000	-20,000	プリンタインク代、鏡淵小学校への印刷協力費
	20 会議	5,000	5,000	0	お茶代、講師交通費
	21 雑費	10,000	10,000	0	県教職員名簿
	22 調査費	0	0	0	
	小 計	220,000	220,000	0	
V 担 金 負	23 負担金	350,000	350,000	0	全特連負担金、関ブロ負担金
	小 計	350,000	350,000	0	
VI 立 基 金 積 振 て み 興	24 全国大会積立	200,000	200,000	0	
	小 計	200,000	200,000	0	
VII 備 費 予	25 予備費	227,376	109,570	117,806	
	小 計	227,376	109,570	117,806	
	合 計	2,024,876	2,229,570	-204,694	

令和6年4月25日

令和6年度 上越地区特別支援教育研究大会 中部大会基本計画

中部大会実行委員会

- 1 主催 新潟県特別支援教育研究会 上越特別支援教育研究会
- 2 共催 上越市教育委員会 上越市校長会 上越市教頭会 上越市学校教育研究会
(予定) 上越市特別支援教育研究会
- 3 主管 上越地区特別支援教育研究大会 上越地区中部大会実行委員会
(上越市第4・6・7ブロック、高田特支、吉川高等特支)
- 4 後援 新潟県教育委員会 日本教育公務員弘済会新潟支部
(予定) 上越地区手をつなぐ育成会 社会福祉法人上越福祉会
- 5 期日 令和6年8月2日(金)
- 6 会場 上越文化会館(仮予約済) *参集形式とオンライン形式のハイブリッド研修
大ホール 12:00~17:00 大会議室 12:00~14:00
- 7 日程案
役員打合せ 12:00~12:15
役員昼食 12:15~12:45
会場準備 12:45~13:30
受付 13:30~14:00
開会式 14:00~14:20
講演会 14:30~16:15
閉会式 16:15~16:30
後片付け 16:30~17:00
- 8 大会主題 なし
- 9 講演講師 和歌山大学名誉教授 武田鉄郎 様
叱らないけど譲らない「提案・交渉型アプローチ」の効用(仮題)
- 10 役員組織
 - (1) 実行委員長 小学校長
副実行委員長(各部長) 小学校長、中学校長、特別支援学校長
 - (2) 参与 上越市中部ブロック校長
 - (3) 分担
 - ①総務部、研修部、運営部、記録部の各部の部長は、中部ブロックの校長が担当する
 - ②実行委員長、部長の選出

○4・6・7ブロック小学校長から各1名、中部ブロック中学校長から1名、特別支援学校から1名選出する。

役 員

役職	役員名
実行委員長	饒村 泰世（飯小） *実行委員長は、総務部の手伝いをする。
副実行委員長	長谷川和彦（吉川小）
総務部	部長 長谷川和彦（吉川小）
	副部長 吉川小教頭
	部員 飯小教頭（会計担当）
研修部	部長 中静 康弘（吉川高等特支）
	副部長 吉川高等特支教頭
	部員 高田特支教頭
運営部	部長 佐藤 則子（三和中）
	副部長 三和中教頭
	部員 4・6ブロック特別支援学級担任から10名
記録部	部長 中嶋里子（上杉小）
	副部長 上杉小教頭
	部員 7ブロック特別支援学級担任から3名、学習情報指導員2名

*実行委員合計26名

11 各部の役割

(1) 総務部

- ・ 研究助成の申請
- ・ 共催、後援申請
- ・ 会場予約、借用手続き、減免申請
- ・ 学習情報指導員2名の派遣申請
- ・ 大会役員名簿の作成
- ・ 開会式、閉会式企画、事前準備計画、当日の動きと司会 *開会式、閉会式を簡素する
- ・ 部長会、実行委員会の計画及び役員の派遣申請作成・発送
- ・ 案内文書の作成（申込み票付き）*駐車場が255台なので限定をかける
- ・ 案内文書配布：4市1郡（上越市、糸魚川市、妙高市、柏崎市、刈羽郡刈羽村）
- ・ 申込み受付集計、参加者名簿作成、講師への礼状発送、会計処理

(2) 研修部

- ・ 講演会講師の選定と依頼（済）、講演会のテーマ・内容の打合せ
- ・ 要項作成：実行委員長挨拶、講演会講師プロフィール、大会役員名簿、研究大会の歩み

(3) 運営部

- ・ 会場の設営、ステージ上の席図、表示（席札、横幕、玄関前の立て看板）*外注に出し作成
- ・ 駐車場案内・整理
- ・ 災害時の避難誘導
- ・ 受付会場設営（机、いす等の準備）、当日の受付
- ・ 弁当、飲み物の注文
- ・ 講師控え室の設営（飲み物等）

(4) 記録部

- ・ 放送機器の借用、準備 *リハーサル日（事前準備）を設ける。
- ・ ZOOM 操作、映像配信 *上越市教育委員会の Zoom ライセンスの借用
- ・ 開会式、講演、閉会式の記録
- ・ 研究大会のまとめ、報告書の作成 *R5 柏崎刈羽大会に倣う

12 予算（案）

(1) 収 入

項 目	予算額	付 記
研究大会費	200,000	県特支研 150,000 上特支研 50,000
研究助成	50,000	日本教育公務員弘済会 50,000
合 計	250,000	

* 日本教育公務員弘済会の研究大会助成

研究大会案内ができたならそれを含めて申請を出す。規模が変わらない限り 50,000 円。

後援は研究助成が決まったら自動的に後援としてよい。

(2) 支 出

項 目	予算額	付 記
会場費	70,000	実行委員会 10,000、当日会場使用料 60,000
報償費	55,000	講演料、交通費、手土産
旅費	10,000	実行委員交通費
需用費	85,000	要項作成 30,000、役員弁当 30,000、各種表示作成 10,000 学習情報指導員お礼（お菓子）4,000 のし袋、用紙 11,000
役務費	10,000	郵送費
予備費	20,000	
合 計	250,000	

13 今後の予定

(1) 令和 5 年度

- ・ 6 月 20 日 第 1 回準備委員会：組織、期日、会場、各部の役割分担
- ・ 11 月 16 日 第 1 回部長会：会場、講師、講演会テーマの確認、準備日程の検討
- ・ 2 月上旬 上越市小学校長会、中学校長会にて実施計画の説明（実行委員長、総務部長）
- ・ 2 月上旬 県特支研支研理事・評議員会にて概要を報告
- ・ 3 月 6 日 第 2 回部長会：次年度の推進計画の検討 * 来年度の役員を確認する
- ・ 3 月 12 日 上特支研理事会にて実施計画を報告（実行委員長）

(2) 令和 6 年度

- * 実行委員会は、R 6 年度になってから開催する。
- ・ 4 月 25 日 第 3 回部長会：組織及び本年度の推進計画の確認
教育委員会への説明（実行委員長、総務部長）
- ・ 5 月下旬 第 4 回部長会：組織や実施計画、各部の推進計画の確認
- ・ 5 月下旬 上特支研理事会：実施計画の説明
- ・ 6 月上旬 県特支研理事会・評議員会：実施計画の説明
- ・ 6 月上旬 第 5 回部長会：各部の進捗状況の確認、案内状の配布
* 第 5 回部長会までに実行委員長と副実行委員長で運営部、記録部の部員を依頼する。
- ・ 7 月上旬 第 1 回実行委員会：当日までの準備内容、当日の役割分担の確認
- ・ 7 月 26 日 事前準備（第 2 回実行委員会） * zoom の動作確認を含める。
- ・ 8 月 2 日 大会当日
- ・ 9 月上旬 関係団体への報告

令和6年度

中越地区特別支援教育研究大会長岡大会実施計画（案）

令和6年5月8日現在

- 1 大会期日 令和6年8月5日（月）
- 2 大会テーマ

「個」と「集団」の両面にアプローチする特別支援教育の現状と課題

～インクルーシブ教育システム構築の未来へ向けて～

特別支援教育は、個の教育的ニーズに応じることが本質である。しかし、学校においては、気になる子も集団の中の一人である。従って、特別支援はその子が属する「集団への指導」とそこでの「個別の支援」の両面から考える必要がある。「個」だけを見つめて理解し支えようとしても難しく、また、「個」の理解のない状態で学級集団の安定だけを考えても難しいのが現実である。

特別支援学級の児童が、通常の学級の児童とともに学習する際、通常の学級の担任が「どこまで一緒にすることをさせれば」「どこまで他の子とおなじように進めればいいのか」と不安や悩みを抱えているケースがある。また、通常の学級に所属している児童の中にも特別な教育的ニーズが必要で、集団活動に馴染めず不適応を起こしている児童がいる。どこまで個に応じ、どこから集団活動ができるのか、日々悩んでいる教員も多い。

特別支援学校はどうか。特別支援学校でも、集団の授業において、多様化複雑化する児童生徒の個々の学びに応じながら、共に学び合える授業づくりが求められている。

そこで、「個」と「集団」の両面にどうアプローチしているのかその現状と課題を明らかにし、これからの特別支援教育の方途を探ることをテーマとした。また、副題にあるように、このテーマの未来は、特別支援教育が目指す、インクルーシブ教育システムを具体的にどう構築していくのか、現場レベルと研究者レベルの両面から解き明かしていくことを目指す。

- 3 主催 新潟県特別支援教育研究会
- 4 主管 中越地区特別支援教育研究大会長岡大会実行委員会
- 5 共催 長岡市三島郡特別支援教育協議会
- 6 後援 新潟県教育委員会 長岡市教育委員会 出雲崎町教育委員会
長岡市三島郡小・中・総合支援学校校長会連絡協議会
長岡市三島郡小・中・特別支援学校教頭会

7 会場 長岡市教育センター

長岡市三和2-8-20 TEL 32-3716 (事務室(代))

大・中研修室及びリモート配信(ハイブリッド形式開催)

8 大会組織

- (1) 大会会長 熊倉 隆司(三条市立裏館小学校)
※中越地区特別支援教育研究会会長
- (2) 大会実行委員長 丸山 悦子(長岡市立与板小学校)
- (3) 大会副実行委員長 菊地 一秀(長岡市立大島中学校)
〃 稲田真砂美(長岡市立総合支援学校)
〃 吉橋 哲(長岡市立高等総合支援学校)
- (4) 顧問 五十嵐恵一(長岡市立千手小学校)
※市特教会長

9 日程等

開始時刻	12:00	12:20	13:00	13:30	13:40	15:10	15:25	16:35	16:45
内容	役員打合	会場準備	受付 Zoom入室	開会式	講演会	準備 休憩	シンポジウム	閉会式	
時間	20	40	30	10	90	15	70	10	

全体進行(千手小)

(1) 開会式

- ① 開会の挨拶 中越地区特別支援教育研究会 会長 熊倉 隆司
- ② 祝辞 長岡市教育委員会 教育長 金澤 俊道 様

(2) 講演会

講師紹介 市特教会長 五十嵐 恵一

講 師 和歌山大学 名誉教授 武田 鉄郎 様

演 題「発達障害のある子どもの不登校等の二次障害の予防と対応
ー叱らないけど譲らない提案・交渉型アプローチの効用ー」

(3) シンポジウム ※詳細は、シンポジウム実施計画による

司会 1名

シンポジスト 4名(通常の学級担任、特別支援学級担任、通級指導教室担当)

アドバイザー 和歌山大学 名誉教授 武田 鉄郎 様

(4) 閉会式

① 閉会の挨拶 長岡大会 実行委員長 丸山 悦子

10 分担

	業務内容	担当
事務局	大会案内状作成、発送（与板小） 諸会合の案内状（派遣申請）作成、発送（与板小） 参加者集約、名簿作成（与板小） 各部の連絡調整（与板小） 来賓（長岡市・出雲崎町教育長）案内状作成、および 発送（与板小） 会計事務（県：与板小 市：千手小） 会場予約（千手小）	○与板小 千手小
総務部	講師への案内状作成・送付（千手小） 講演テーマ決定（千手小） 講演記録（千手小） 後援申請（県教委、市教委、出雲崎町教委）（与板小） 開閉会式の計画・進行（講演会含む）（千手小） 大会要項作成・印刷（与板小） 弁当手配、湯茶接待（与板小、千手小）	○与板小 千手小
研究部	シンポジウムテーマ決定（総合支援） シンポジスト決定（総合支援） シンポジストへの案内状作成・送付（総合支援） シンポジストの流れ作成、連絡（与板小、総合支援） シンポジウム運営（総合支援） シンポジウム記録（総合支援）	○総合支援 与板小
会場・記録部	会場施設との打ち合わせ 会場設営 各表示関係 受付 視聴覚、放送機器準備 オンライン全般 駐車場案内 写真・ビデオ記録	○大島中 千手小 高等総合支援

11 予算

(1) 収入

項目	予算額	摘要	付記
研究大会費	150,000	県特支研より	
市特教から	129,600		
研究助成	0		申請なし
合計	279,600		

(2) 支出

項目	予算額	摘要	付記
需用費	50,000	要項代、Zoom等準備	
報償費	70,000 15,000	講師謝礼、交通費 手話通訳	
事務費	30,000	用紙、郵送費	
会場費	0		看板なし
予備費	114,600		
合計	279,600		

12 今後の日程等

内容	時期	備考
準備会（担当校長会）	1月23日	会場：千手小
第1回実行委員会 基本計画（案）検討	3月13日	会場：千手小
第2回実行委員会 基本計画に沿った各担当の提案	5月15日	各部から
基本計画の説明	4月10日（校長会） 4月24日（学教研協議会） 5月8日（教頭会）	事務局・総務部（校長会、教頭会、学校教育研究協議会等）
発表者、担当等決定	4月中旬	各部
1次案内の送付	5月中旬	事務局・総務部
（第3回実行委員会）	（6月中旬）	必要なら設定
2次案内、要項の送付	6月上旬	事務局・総務部
参加者の集約	7月上旬	事務局
最終打ち合わせ等	7月下旬から当日	

赤字は前回の新潟市大会(分科会あり)からの変更点

令和6年度 下越地区特別支援教育研究大会新潟大会 実施計画(案)

- 1 大会主題 『多様な学びの場で、共に学ぶ特別支援教育の充実を目指して』
※H27, H30の新潟大会
R5の新発田大会 も同様の大会主題
- 2 主 催 新潟県特別支援教育研究会
- 3 共 催 新潟市小・中学校長会
新潟市小・中学校教育研究協議会
- 4 主 管 下越地区特別支援教育研究大会 新潟大会実行委員会
- 5 後 援 新潟県教育委員会
新潟市教育委員会
新潟市手をつなぐ育成会
公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部

- 6 期 日 令和6年11月27日(水)
午後1時30分から午後4時30分

- 7 会 場 新潟市 江南区文化会館 会場予約済
〒950-0144 新潟市江南区茅野山3丁目1番14号
電話 025-383-1001(代表)

- 8 日 程
13:00 13:30 13:50 14:30 14:45 16:25 16:30

※午前中準備	受付 (30)	開会式 (20)	全体指導 (40) 県20分 市20分	休憩 移動 (15)	分科会 提案 (100)	閉会 (5)
--------	------------	-------------	------------------------------	------------------	--------------------	-----------

※分科会後、流れ解散

- 9 開催形式 ハイブリット形式
発表者、指導者と新潟市の参加者は、会場に参集
他の地域の参加者は、オンライン参加とする
- 10 参加人数 下越地区特別支援教育担当者及び保護者
約350名程度(参集約180人・オンライン約170人)

11 全体指導並びに設置分科会と発表者・指導者

(1) 全体指導

新潟県教育庁義務教育課 特別支援教育推進室 指導主事 <未定> 様
新潟市教育委員会特別支援教育課 指導主事 <未定> 様

(2) 設置分科会と発表者・指導者

分科会<地区と校種>	発表者	指導者	司会	世話役
第1分科会 校内支援体制づくり 【新潟市南区<中>】	新潟市立 北中学校 田村美穂 教諭	未定	新潟市立 白根第一中学校 熊田浩子 教諭	オンライン配信があるので、世話役は分科会担当係で決定
第2分科会 小学校特別支援学級での支援 【阿賀野・五泉<小>】	五泉市立 川東小学校 大関清香 教諭	県立五泉特別支援学校村松分校 教頭 朝妻裕祐	五泉市立 五泉小学校 五十嵐知子 教諭	
第3分科会 中学校特別支援学級での支援 【新発田・胎内<中>】	新発田市立 第一中学校 長谷川裕一 教諭	県立新発田竹俣特別支援学校 教頭 高橋 忠	新発田市立 佐々木中学校 山田絵美子 教頭	
第4分科会 通常学級での支援 【新潟市中央区<中>】	新潟市立 白新中学校 三日月 好 教諭 小野かさね 教諭	未定	後日	
第5分科会 通級指導教室での支援 【新潟市秋葉区<小>】	新潟市立 荻川小学校 鈴木綾子 教諭	未定	新潟市立 荻川小学校 板垣菜穂子 教諭	
第6分科会 家庭・地域での支援 【村上・岩船<小>】	村上市立 岩船小学校 佐藤純子 教諭	県立村上特別支援学校 校長 大谷 誠	村上市立 保内小学校 小沼 亨 教諭	

※発表者・指導者・司会の選出は、各ブロックに一任

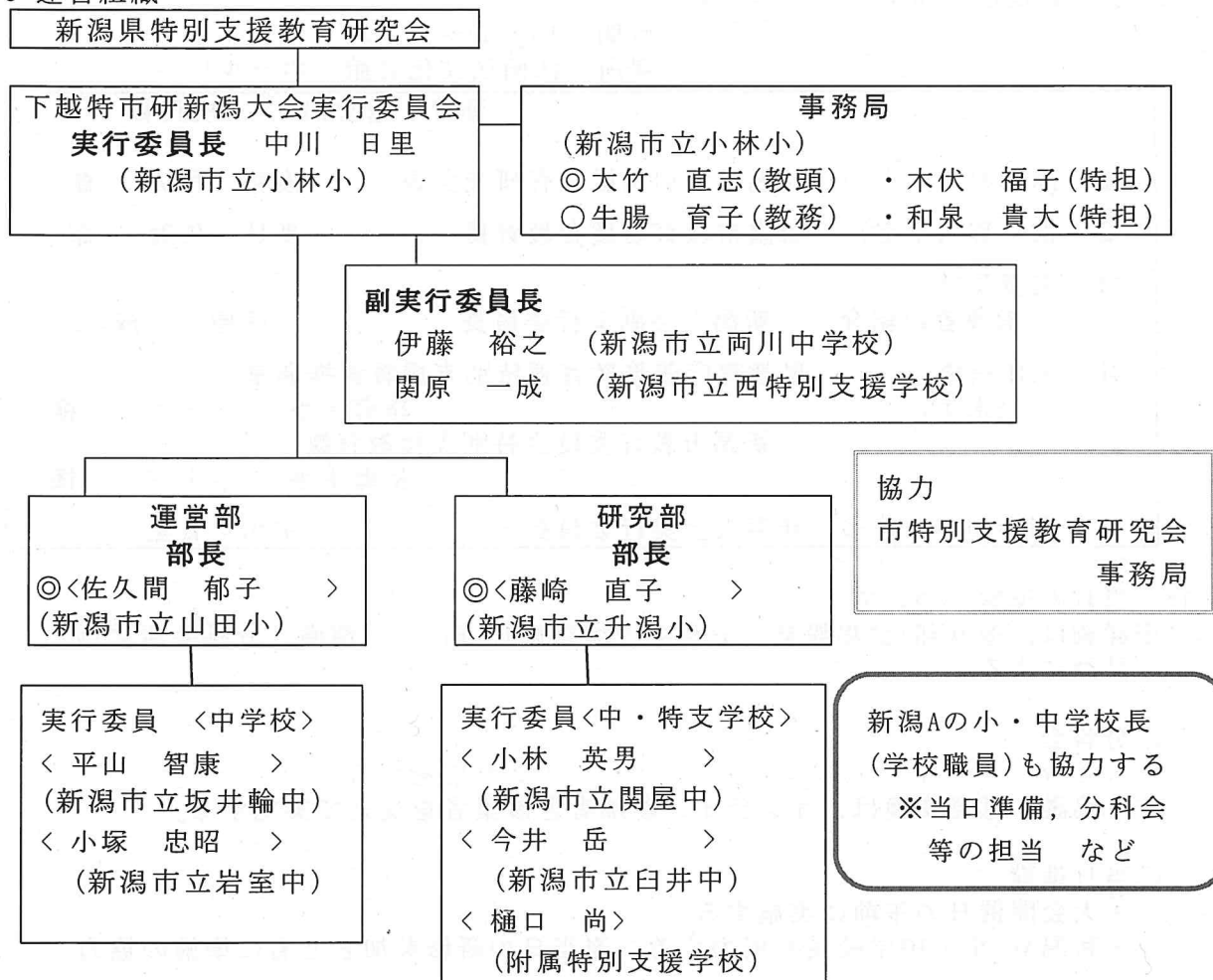
※ただし、新潟市は、「指導者」は、市教委特別支援教育課に連絡をし、決定してもらう

12 大会役員

役職名	氏 名
大会会長	後藤 和広 (新潟県特別支援教育研究会会長)
大会副会長	阿部 隆一 (新潟県特別支援教育研究会副会長)
大会副会長	土田 亮 (新潟市特別支援教育研究会会長)
実行委員長	中川 日里 (新潟市特別支援教育研究会理事)
副実行委員長	伊藤 裕之 (新潟市特別支援教育研究会理事)
副実行委員長	関原 一成 (新潟市特別支援教育研究会理事)
実行委員	新潟B 小学校 佐久間 郁子(山田小) 藤崎 直子 (升潟小)
	新潟B 中学校 小林 英男(関屋中) 平山 智康(坂井輪中) 今井 岳(臼井中) 小塚 忠昭(岩室中)
	新潟B 特支学校 樋口 尚 (附属特支)

新潟Aの小・中学校長は、当日の準備・分科会等のサポートを行う

13 運営組織



事務局…全体統括・調整、全体計画、後援申請、会場借用、会議案内状作製、会計処理、一次チラシ・二次チラシ作成・送付
来賓対応（指導者・司会者・記録者等の選定）

副実行委員長…渉外(指導者、来賓)

指導者・司会者・記録者等の選定、派遣依頼

下越の各地区との連携（窓口校長の把握）、来賓対応

※伊藤校長…市教委特別支援課との連携

関原校長…県教育庁特別支援室との連携、手をつなぐ親の会との連携

運営部…申し込み集約(Google フォーム)、

参加者名簿作成(分科会ごと、オンライン参加者と参集参加者の把握)、
分科会人数把握、当日の会場図

全体会・全体指導運営、会場設営・標示、受付準備、~~駐車場案内・整理~~
受付、来賓・指導者接待、分科会会場設営・準備(オンライン準備)

研究部…要項作成、アンケート作成(Google フォームにて)

分科会の協議題設定、

分科会関係者への派遣申請、

指導者と発表者及び司会者との打ち合わせ会、

分科会運営(世話人、記録者の選定)、分科会記録用紙の作成・整理等

※要項の製本印刷はしない(PDFで配信)。当日参集者分のみ印刷(受付で配付)

14 開会式及び全体指導 次第（案）

時間 13:30～14:30

場所 江南区文化会館（ホール）

進行 運営部 < 校長職 >			
1	開会のあいさつ	新潟県特別支援教育研究会長	後藤 和広 様
2	祝 辞（予定）	新潟市教育委員会教育長	夏目 久義 様
3	来賓及び 指導者の紹介	新潟大会副実行委員長	関原 一成
4	全体指導 （未定）	県教育庁義務教育課特別支援教育推進室 指導主事	<未定> 様
		新潟市教育委員会特別支援教育課 指導主事	<未定> 様
5	閉会のあいさつ	新潟大会実行委員長	中川 日里

15 当日の運営について

※詳細は、運営部（会場設営，分科会会場準備），研究部（準備，分科会運営）の計画による

○分科会

- ・各分科会会場でZoomを設定し，オンライン配信をする。
- ・協議，意見交換は，オンライン参加者と参集者を交えて実施する。

○当日準備

- ・大会開催日の午前に実施する。
- ・新潟Aの小・中学校長も協力する。※当日の研修参加とともに準備の協力

16 推進日程

市特支研会長名で、新潟Bの理事を招集する
派遣申請も市特支研

○1月

第1回準備委員会<新潟AB>（会場：女池小）15:00～

- ・実行委員長他選出
- ・組織の確認と実施計画案の協議
- ・運営部、研究部の仕事分担確認

※小学校新潟Bは、4月までに話合う内容があれば必要に応じて随時実施
場合により、中学校新潟Bも含め、準備委員会を行うこともある

○5月上旬

第1回実行委員会<新潟Bのみ>（会場：小林小）15:00～

- ・新組織での確認 ※異動後の役員等の名前を変更
- ・各部で分担した仕事の計画を持ち寄り協議

○5月下旬

第2回拡大実行委員会<新潟AB> 及び 第1回部会

（会場：市特支研会長の学校）15:00～

市特支研理事会後
に実施

- ・大会の概要並びに各部の計画案についての共通理解等

⇒ 5月下旬か6月上旬に一次案内

※11月までは、各部会で、日時場所を設定して行う<派遣申請は各部内で作成>

○11月上旬 第3回実行委員会<新潟Bのみ>（会場：江南区文化会館）

・各部の進捗状況の確認と大会当日の運営について協議

11月27日（水） 大会当日（江南区文化会館）

○12月中旬 第4回実行委員会<新潟Bのみ>

各専門部の反省と関係団体への報告についての協議

15 予算（案）

(1) 収入の部

項 目	予 算 額	備 考
1 県特別支援教育研助成金	1 5 0 , 0 0 0	前 回 比 50,000円 減
2 教育研究会助成金	5 0 , 0 0 0	
3 教育公務員弘済会助成	2 0 , 0 0 0	
合 計	2 2 0 , 0 0 0	

(2) 支出の部

項 目	予 算 額	備 考
1 通信・事務費	2 0 , 0 0 0	案内郵送，用紙等
2 大会運営費	1 6 5 , 0 0 0	
(1)印刷・製本費	5 0 , 0 0 0	案内状，要項(当日参会者用)， 封筒，インク，紙代等， 会議資料印刷等
(2)会場費	5 5 , 0 0 0	会場借用，看板，生花，標識等
(3)会議費	4 0 , 0 0 0	指導者・提案者・司会者・記録者等 の昼食，お茶 等
(4)その他予備	2 0 , 0 0 0	オンライン配信関係費，胸花等
3 旅費	2 5 , 0 0 0	指導者等旅費
4 雑費	0	
5 予備費	1 0 , 0 0 0	
合 計	2 2 0 , 0 0 0	

(3) 差引残高

2 2 0 , 0 0 0 - 2 2 0 , 0 0 0 = 0 円

※今年度から残金は，県特支研に返す

16 その他

- (1) 分科会の発表者の選出と指導者・司会者の依頼を行う。〈研修部〉【済】
 ※ 市・・・市特支研会長に依頼
 県・・・地区事務局に聞き、どこに依頼するのかを確認する
- (2) 第一次案内は6月中旬までに出す。〈事務局〉
 市教委窓口:特支課 課長補佐
- (3) 会場へ正式申し込みを行う。【済】
 ※新潟市教委(特別支援教育課)から減免対象事業として
 正式に予約
 (事務局で必要書類を2種類作成、減免書類は市教委作成)
- (4) 会場について
 以下の場所・時間で予約済み

音楽演劇ホール (本番)	13時00分から17時00分まで	ホールの楽屋も借りられる 1か月前の打ち合わせの時に、 どの楽屋を借りるか伝える
音楽演劇ホール (練習・準備)	9時00分から12時00分まで	
多目的ルーム 1	9時00分から17時00分まで	
多目的ルーム 2		
講座室 1		
講座室 2	13時00分から17時00分まで	午前は、会館のイベントで使用 するため借用不可
和室 1	9時00分から17時00 分まで	
和室 2		
美術工作室 1		
美術工作室 2		
音楽練習室 1		
音楽練習室 2		

令和 6 年 5 月 1 日

令和 7 年度 新潟県特別支援教育研究大会新潟大会 実施計画 (案)

(全国大会プレ大会)

- 1 大会主題 『未定』
- 2 主 催 新潟県特別支援教育研究会
- 3 共 催 新潟県校長会 新潟市校長会
- 4 主 管 新潟県特別支援教育研究大会 新潟大会実行委員会
- 5 後 援 新潟県教育委員会
(予 定) 新潟市教育委員会
公益財団法人日本教育公務員弘済会
- 6 期 日 令和 7 年 8 月 1 日 (金)
- 7 会 場 新潟テルサ *新潟市教育委員会に予約依頼済み。減免申請対応
住所：新潟市中央区鍋木 1 8 5 - 1 8 電話：0 2 5 - 2 8 1 - 1 8 8 8

8 日 程

9:30 10:00 10:30 11:30 12:30 13:30 15:00

受 付	開 会 式	全 体 指 導	講 演	休 憩	分 科 会
(30)	(30)	(60)	(60)	(60)	(90)

*終了した分科会から各自終了

- 9 参加人数 新潟県特別支援教育担当者及び保護者 約 5 0 0 人程度
・会場参加者 5 0 0 人

10 参加費

参加費 (資料代) … 1 0 0 0 円
弁当代 … 1 0 0 0 円 (必要な人のみ)

11 全体指導並びに講演者

(1) 全体指導

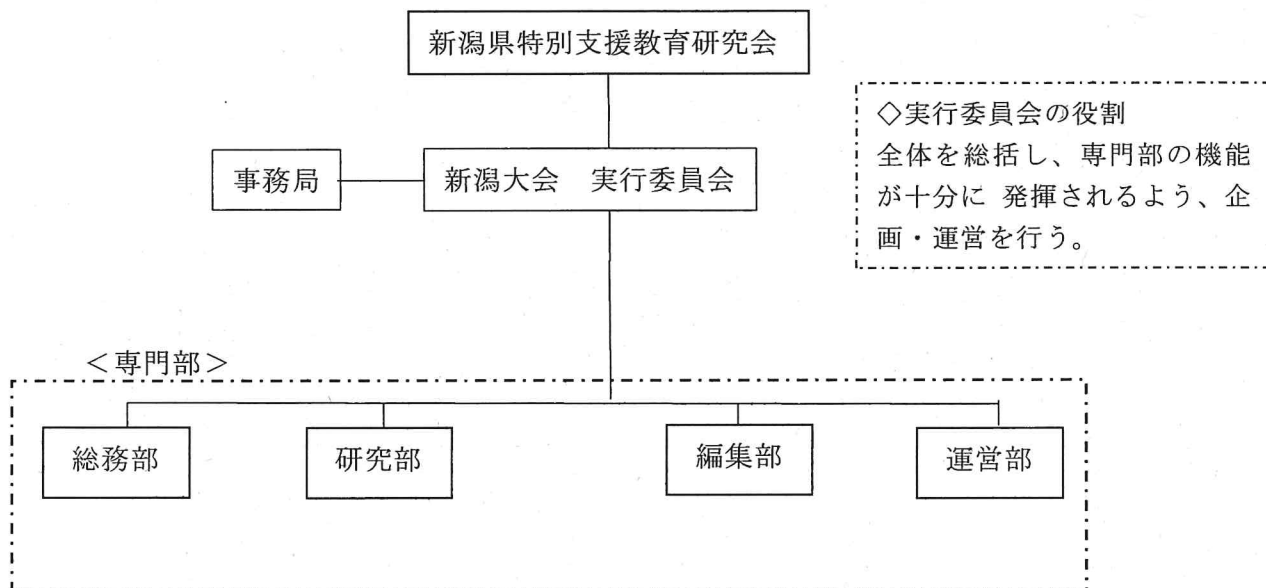
指導者 新潟県教育庁義務教育課特別支援教育推進室
指導主事 ○○ ○○ 様
新潟市教育委員会特別支援教育課
指導主事 ○○ ○○ 様

協議 4

(2) 講演会
講師 (未定)

様

12 運営組織



① 総務部…案内の作成

講師・指導者・来賓にかかわる選定・渉外
開会式・全体指導運営、
来賓・指導者接待
参加申し込み集約、参加者名簿作成

② 研究部…大会主題の設定、

分科会構成と運営 *全国大会で開催する15分科会のうち、5分科会を設定
分科会の地区割り

③ 編集部…大会要項の立案・作成

記録写真撮影
大会記録の立案・作成
アンケート作成・集約
資料入れ袋作成・発注

④ 運営部…会場準備

一般・来賓受付の設営計画・管理
放送機器等の準備・点検
会場図作成等、会場借用、会場設営・標示

⑤ 事務局…大会基本計画の立案

会計処理等の予算関係
後援申請
全体整理

※役員会は大会役員のうち 実行委員長、副実行委員長、事務局で行うこととする。

協議 4

13 大会役員

役職名	氏 名
大会 実行委員長	新潟市立鏡淵小学校 後藤 和広（新潟県特別支援教育研究会長）
大会 副実行委員長	上越市立南本町小学校 泉 豊（新潟県特別支援教育研究会副会長） 三条市立裏館小学校 熊倉 隆司（新潟県特別支援教育研究会副会長） 新潟市立東特別支援学校 阿部 隆一（新潟県特別支援教育研究会副会長） 新潟市立女池小学校 土田 亮（新潟市特別支援教育研究会長）

総務部（下越）	研究部（中越）	編集部（上越）	運営部（新潟市）
◎県特支研副会長 ○下越地区理事	◎県特支研副会長 ○中越地区理事	◎県特支研副会長 ○上越地区理事	◎新潟市特支研会長 ○新潟市地区理事
・下越地区評議員	・中越地区評議員	・上越地区評議員	・新潟市地区評議員
事務局	◎ 佐藤 快海（新潟市立鏡淵小学校） ○ 木村 杏子（新潟市立鏡淵小学校） ・ （上越市南本町小学校） ・ （三条市立裏館小学校） ・ （新潟市東特別支援学校） ・ （新潟市女池小学校）		

14 開会式及び全体指導 次第（案）

時間 10:00～12:30

場所 新潟テルサ（ホール）

		進行 副実行委員長 土田 亮
1 開会のあいさつ	大会実行委員長	後藤 和広
2 祝 辞	新潟県教育委員会	〇〇 〇〇 様
3 来賓紹介	大会 副実行委員長	泉 豊
4 全体指導	新潟県教育庁義務教育課特別支援教育推進室 指導主事	〇〇 〇〇 様
	新潟市教育委員会特別支援教育課 指導主事	〇〇 〇〇 様
5 講師の紹介	大会副実行委員長	熊倉 隆司
6 講 演		〇〇 〇〇 様
7 閉会のあいさつ	大会副実行委員長	阿部 隆一

協議 4

15 推進日程

【令和 6 年度】

5 月 1 日 (水) 三役会兼役員会 (Zoom) 14:00～

- ・組織の確認と実施計画案の協議等

7 月中旬 役員会 (Zoom) 9:30～

- ・大会主題、拡大実行委員会の確認等
実行委員会の日程調整

9 月中旬 役員会 (Zoom) 10:00～11:30

- ・新組織での確認・各部の仕事分担と計画立案の内容調整

11 月中旬 役員会 (Zoom) 10:00～11:30

- ・大会の概要並びに各部の計画案についての共通理解等

12 月中旬 専門部会 (会場：各部の地域ごとに設定する)

- ・各専門部の計画の協議及び報告等

1 月中旬 三役会兼役員会 (Zoom) 10:00～11:30

- ・各部の準備計画の確認

2 月中旬 専門部会

- ※専門部ごとに日時場所等を設定し行う。

【令和 7 年度】

5 月上旬 三役会兼役員会 (Zoom) 10:00～11:30

- ・各部の進捗状況の確認と大会当日の運営について詳細の確認

6 月上旬 役員会 (Zoom) 10:00～11:30

- ・各部の進捗状況の確認と大会当日の運営について詳細の確認

7 月上旬 役員会 (Zoom) 10:00～11:30

- ・各部の進捗状況の確認と大会当日の運営について詳細の確認

8 月 1 日 (金) 大会当日 (新潟テルサ)

9 月中旬 役員会 (Zoom)

- ・各部の反省と関係団体への報告についての協議

協議 4

16 予算 (案)

(1) 収入の部

項 目	予 算 額	備 考
1 新潟県特別支援教育会助成	600,000	
2 教育公務員弘済会助成	100,000	
3 会費	500,000	1,000円×500人
合 計	1,200,000	

(2) 支出の部

項 目	予 算 額	備 考
1 通信・事務費	200,000	案内郵送, 用紙等, 要項
2 大会運営費	450,000	
(1)印刷・製本費	100,000	案内状, 封筒, 要項作成等
(2)会場費	100,000	会場借用, 看板, 生花, 標識等
(3)会議費	100,000	指導者, 講演者 謝礼等
(4)オンライン経費	150,000	技術料, 機器借用料等
3 旅費	300,000	指導者等旅費, 会議旅費, 謝礼
4 雑費	0	
5 予備費	250,000	
合 計	1,200,000	

(3) 差引残高

$$1,200,000 - 1,200,000 = 0 \text{円}$$

16 その他

- (1) 専門部員の選出は、県特支研の各地区の理事・評議員で行う。それ以外の部員の選出が必要な場合については、専門部の部長に一任する。
- (2) 来賓・全体会指導者・講演会講師の依頼を令和6年度末までに行う。
※総務部が人選・依頼を行う。
- (3) 会場の申込については、6年度の早いうちに予約する。＊事務局は減免申請を行う。
- (4) 第一次案内は1月下旬に出す。
- (5) 余った予算に関しては、翌年の全国大会への積立へ回す。

令和 6 年 6 月 吉日

特別支援学級・通級指導教室設置学校長様
特別支援学校長様
参加希望校長様

新潟県特別支援教育研究会
会 長 後藤 和広
(職印省略)

令和 6 年度新潟県特別支援教育研究会負担金（会費）納入について（お願い）

貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろ、当会の事業の推進につきましてご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和 6 年度新潟県特別支援教育研究会理事の皆様、本年度の事業計画が承認され、その推進にあたることになりました。

つきましては、令和 6 年度分の当会の負担金（会費）を下記のとおり納入くださいますようお願い申し上げます。

記

1 負担金

(1) 特別支援学級・通級指導教室設置校負担

設 置 学 校 割（学校 1 校につき）・・・・・・・・・・ 1, 8 0 0 円

(2) 特別支援学校負担

本校（学校 1 校につき）・・・・・・・・・・ 4, 5 0 0 円
分校・・・・・・・・・・ 負担金無し

※ 令和 6 年 5 月の情報から請求しております。設置数等の変更がありましたら県特支研事務局まで連絡下さい。

2 送金方法

◎ 下記の銀行口座に振り込み

【ゆうちょ銀行】	
郵便局からの振り込み	他銀行からの振り込み
口座番号 記 1 1 2 1 0	店名 一二八（イチニハチ）
番 6 3 8 6 1 5 1	店番 1 2 8
口座名 新潟県特別支援教育研究会	口座番号 普通 0 6 3 8 6 1 5
	口座名 新潟県特別支援教育研究会
【 第四北越銀行 白山支店 】	
口座番号 普通預金 NO. 1 5 3 2 8 5 3	
口 座 名 新潟県特別支援教育研究会 会長 後藤 和広	
住 所 〒951-8131 新潟市中央区白山浦1-207-3	
新潟市立鏡淵小学校内 TEL025-265-4111	

- 銀行の振り込み領収書をもって領収書に代えさせていただきます。領収書が必要な場合は事務局までご連絡ください。
- 振り込み手数料もご負担願います。
- 市町村教育委員会・教育諸団体等で一括して納入される地区があります。各校でご確認の上、遺漏のないようにお願いします。

裏面あり

◎送金に際してご注意いただきたいこと

* 送金先がわかるように、振り込み入力をお願いします。

～通帳の入金先を見ても分からず、確認に時間がかかり毎年困っている例～

例1 トクシタロウ

⇒その学校の入金担当職員の名前だと思われます。

学校名を入力してください。

例2 ~~ニイガタシリツ~~

カガミフチショウガッコウ

⇒入金時は〇〇市立、〇〇町立等は省き学校名から入力ください。

例3 カガミフチヒガシ

⇒「小」か「中」か、事務局ではわからない場合があります。制限字数内で団体がわかるようお願いいたします。

困難な場合は TEL、FAX で入金したことを事務局までご連絡ください。

3 納入期限

令和6年6月28日（金）

- * 領収書や趣意書が必要な場合は事務局にご連絡願います。
- * 納入期限を過ぎても振り込まれない地区や学校にはそれぞれ地区の評議員の方から、納入願いの連絡をしていただきます。
- * 負担金については市町村によって、納入方法が異なります。それぞれの地区の評議員で対応をご検討願います。

新潟県特別支援教育研究会
評議員 各位

新潟県特別支援教育研究会
会 長 後藤 和広

令和 6 年度新潟県特別支援教育研究会負担金納入について（お願い）

貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和 6 年度当初の活動を推進するにあたり、当会の目的や主な活動内容、負担金の活用内容をお伝えするとともに、今年度の負担金の納入について周知していただきますようお願い申し上げます。

負担金額につきましては、特別支援学級等を設置している学校・及び当会への参加希望校に 1 校 1, 8 0 0 円とさせていただくこととしました。

つきましては、別紙負担金納入依頼文書（お願い）を貴地区の特別支援学級設置校に配付いただき、期限内の納入についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、貴地区の特別支援学級設置校一覧（令和 6 年 5 月 1 日現在）を同封しておりますので、ご活用ください。※訂正箇所がありましたら事務局までご連絡ください。

〈当会の目的〉

当会は、昭和 4 1 年に新潟県障害児教育研究会として設立されました。平成 1 9 年 4 月に改正されました学校教育基本法に基づき、名称を「新潟県特別支援教育研究会」に、目的を「本会は特別な支援を要する児童生徒に対する教育の推進を図ることを目的とする」と一部改正いたしました。

〈主な活動内容〉

以下のような活動を推進することにより、県内の特別支援教育の一層の充実を目指しております。

- 研究大会や知的障害部、言語・難聴部、自閉症・情緒障害部、肢体不自由・病弱・身体虚弱部、視覚障害部等の研修会の開催
- 他都道府県での研究会等への参加
- 広報等による特別支援教育にかかわる情報の提供

〈負担金の活用内容〉

特別支援学級・通級指導教室設置学校等から納めていただく負担金は、以下のように活用しております。

- 研究大会、研修会等の運営費
- 会報印刷・発送費等

各地区評議員への報告依頼・配付依頼に関する一覧

令和 6 年度中に報告を依頼する文書や配付していただくものを一覧にまとめました。

ご理解とご協力をお願いします。

提出・配付	報告先・配付先	備考
○負担金納入について (お願い) ○請求先の確認 ○負担金請求書	新潟市・新発田市 ＊地区内の会員の学 校へ事務局が配付 二市以外の地区	○納入先を事務局へ連絡する。〆切 2 8 日(火) ○一括納入の確認後、各評議員に送る ※負担金の納入期限：6 月 2 8 日(金)
◎会報配付 ○1 2 9 号(7 月) ○1 3 0 号(2 月)	会員の学校へ配付 →R 6 より事務局が メールで行う	○特別支援学級設置校、特別支援学校(分校) 数分配付
○大会案内 全国・関ブロ大会 各種大会	会員の学校へ配付 →R 5 より事務局が メールで行う	○各学校 1 部
○育成会会報 (明日香等他団体からの 文書)	地区内設置校へ配付 →R 6 より事務局が メールで行う	○各学校 1 部
○令和 7 年度 特支学級数及び評議員 の報告書	事務局に提出 ＊メールか FAX で報告	○依頼文書と様式を 6 年度内に評議員宛に メールで配付

【連絡3】各種補助金・後援の申請について

1 日本教育公務員弘済会からの補助金について

申請者	申請方法	送金について	時期	備考
県特支研団体	県特支研事務局から弘済会へ会長名で申請し、年度末に報告書を提出する。	弘済会の方が、鏡淵小学校に直接持参する。	7月と9月と11月ごろに審査の機会があるので、7月から9月に間に合うようにする。	所定の報告書あり（弘済会HPから） 申請時に助成金の執行予定内訳を記載。報告時に執行内訳にかかる領収書の添付が必要。
各地区大会	各事務局校から弘済会へ大会実行委員長名で <u>直接申請</u> し、大会実施後 <u>報告書</u> も直接提出する。	弘済会から各事務局へ送金される。		
各研究部	県特支研事務局から送られる申請用紙に記入し、県特支研事務局を經由し、申請する。 【変更】※ ⇒令和4年度より、研究部の助成も各事務局（部長名）で各自弘済会に直接申請する。報告書も各自作成、提出する。	弘済会から指定口座へ入金される。		

※ 弘済会事務局より、令和4年度から「1団体1助成」の基本方針に基づき、各地区大会及び各研究部も各自で申請・報告を行うように指示がありました。各事務局は、県特支研事務局を通さずに手続きを行っていただきますので、よろしくお願いいたします。

2 厚生財団からの助成金について

申請	申請方法	送金について	申請時期	備考
県特支研団体	9月か10月ごろに厚生財団から次年度の申請用紙が送られてくる。 県特支研事務局が、その用紙を厚生財団に提出する。 年度末に事業報告をする。	次年度の助成金決定の通知が2・3月に送られ、次年度5月頃に申請用紙に書いた口座に入金される	9月か10月ごろ	2月か3月に第2回理事会の資料と各地区大会の資料を厚生財団に提出する。

3 県教委の後援申請について

申請	申請方法	承諾書について	申請時期	備考
県特支研各地区大会	6～7月ごろに、各地区大会事務局から送られてくる、 <u>実施計画と予算案</u> を県特支研事務局が会長名でまとめて県教委に提出する。 大会後、大会事務局は後援事業第3号様式に従い、速やかに報告書と決算書を県特支研事務局に提出、会長名で県教委へ報告する。	県教委の方から、鏡淵小学校に送られて来る。その後、事務局から郵送する。	6月か7月ごろ	所定の報告書あり

新潟県特別支援教育研究会 規約

(名 称)

第1条 本会は新潟県特別支援教育研究会と称する。

(目 的)

第2条 本会は特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する教育の推進を図ることを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 全県的に研究活動を活発にすること及びその連絡助成
- 2 会報・リーフレットなどの資料の編集・刊行
- 3 研究大会・協議会・研修会・講演会などの開催
- 4 ホームページによる各種情報の収集・提供
- 5 関係団体との連絡・提携
- 6 その他必要な事業

(会 員)

第4条 本会は本県の特別支援学級及び通級指導教室を設置している小中高等学校・特別支援学校並びに入会希望校の教職員をもって会員とする。

(役 員)

第5条 本会は次の役員をおく。

会長1名、副会長3名（小中学校2名、特別支援学校1名）会計監査3名、理事若干名、評議員若干名、幹事若干名

(役員の選出)

第6条 会長・副会長・会計監査・理事は評議員会の選出による。評議員は地区割に応じて1名ないし2名以上おき、各地区及び特別支援学校長会の推薦による。幹事は会長の委嘱による。

(役員の任務)

第7条 役員の任務は、次のとおりとする。

- 1 会長は本会を代表し、会務を統理する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは代行する。
- 3 会長・副会長・理事は理事会を構成し、会務を執行する。

4 会計監査は会計を監査し、評議員会に報告する。

5 幹事は事務を処理する。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は2年とする。再任は妨げない。任期の途中で役員に欠員を生じたとき、これを補充しなければならない。その場合の任期は次期改選までとする。

(顧 問)

第9条 本会に顧問をおくことができる。顧問は、評議員会の推薦で会長が委嘱する。

(評議員会)

第10条 評議員会は、会長・副会長・理事並びに各地区及び特別支援学校長会から推薦された評議員で構成し、年1回以上これを開催する。

第11条 評議員会は会長が招集し、次のことを議決・承認する。

- 1 役員の選出及び顧問の推薦
- 2 事業及び予算の議決・承認
- 3 決算の承認
- 4 規約の改正及び細則の決定
- 5 会費に関すること
- 6 その他必要な事項

(理事会)

第12条 理事会は会長・副会長・理事で構成する。

第13条 理事会は会長が招集し、次の会務を執行する。

- 1 評議員会に提出する議案の作成
- 2 評議員会で議決された事項の執行
- 3 評議員会の代行（ただし、次の評議員会での承認が必要）

(経費・会計)

第14条 本会の経費は会費・助成金等による。

会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

会費は評議員会で定める。

(事務局)

第15条 本会の事務を処理するために会長の定めるところに事務局をおく。事務局は鏡淵小学校（新潟市中央区白山浦1丁目207番地3）

(研究部)

第 16 条 本会には知的障害部、自閉症・情緒障害部、肢体不自由・病弱・身体虚弱部、言語・難聴部、視覚障害部、特別支援学校部の各研究部をおき、部長は当会の理事・評議員の中から、会長が委嘱する。特別支援学校部は特別支援学校長会で部長を選出する。

(規約の改正)

第 17 条 本会の規約の改正は評議員会の議決を経て行う。

附 則 (規約の発効)

この規約の発効は昭和 41 年 4 月 1 日とする。

附 則

この規約の発効は昭和 54 年 4 月 1 日とする。

附 則

この規約の発効は昭和 55 年 6 月 4 日とする。

附 則

この規約の発効は平成 9 年 5 月 14 日とする。

附 則

この規約の発効は平成 10 年 5 月 25 日とする。

附 則

この規約の発効は平成 11 年 5 月 24 日とする。

附 則

この規約の発効は平成 12 年 6 月 5 日とする。

附 則

この規約の発効は平成 17 年 5 月 3 1 日とする。

附 則

この規約の発効は平成 19 年 5 月 29 日とする。

附 則

この規約の発効は平成 20 年 6 月 9 日とする。

附 則

この規約の発効は平成 21 年 5 月 27 日とする。

附 則

この規約の発効は平成 23 年 5 月 25 日とする。

附 則

この規約の発効は平成 24 年 5 月 31 日とする。

附 則

この規約の発効は令和元年 6 月 11 日とする。

附 則

この規約の発効は令和 6 年 5 月 2 1 日となる。

旅費規程

全国大会への理事、評議員等の派遣にともない、以下のように旅費の規程を定める。担当者へは事前に旅費（参加費）を算出し、送金する。

	項目	目安	上限(円) *上限に満たない 場合は実費支給	関連大会等(該当者)
自動車	普通道路 ガソリン代	1kmあたり 22円 (10円未満 端数切捨て)	一般的な最短距離	・ 理事会(理事) 評議員会(評議員) ・ 地区大会(会長、副会長、事務局) ・ 関ブロ大会(会長、副会長、事務局、理事・評議員、発表者・司会者・助言者) ・ 全国大会(会長、副会長、事務局、理事・評議員、役員) ・ 関ブロ理事会(会長、副会長)
	高速道路利用 料金	原則 最短距離	片道約 100km以上 の場合支給	同 上
鉄道	普通料金	鉄道会社旅行会社の料金表 割引切符優先	大会開催地ごとに事務局が鉄道会社等の料金表を目安に提示	・ 理事会(理事) 評議員会(評議員) ・ 地区大会(会長、副会長、事務局) ・ 関ブロ大会(会長、副会長、事務局、理事・評議員、発表者・司会者・助言者) ・ 全国大会(会長、副会長、事務局、理事・評議員、役員) ・ 関ブロ理事会(会長、副会長)
	特急料金	鉄道会社旅行会社の料金表	県外は新幹線料金が上限	同 上
航空	航空料金	航空会社旅行会社の提示額	原則、本州圏内は新幹線利用料金と同等額が上限	・ 全国大会(会長、副会長、事務局、理事・評議員、役員)
船舶	船舶料金	船舶会社・旅行会社の提示額	原則実費、全国大会では、そのつど事務局が提示する	・ 地区大会佐渡大会(会長、副会長、事務局) ・ 全国大会(会長、副会長、事務局、理事・評議員、役員)
宿泊	ホテル宿泊費		原則、1万円 全国大会理事会の懇親会に、会長が出席する場合、同会場での宿泊も可とする	・ 関ブロ大会(会長、副会長、事務局、理事・評議員、発表者・司会者・助言者) ・ 全国大会(会長、副会長、事務局、理事・評議員、役員)